



公益財団法人

北海道中小企業総合支援センター

補助金

# 中小企業競争力 強化促進事業

## 補助事業

- 1 新分野・新市場進出等を目指した製品・サービスの開発
- 2 市場調査や道外・海外・オンラインの展示会等への出展
- 3 コンサルタントを招いての現場改善
- 4 従業員等の人材育成派遣・社内研修
- 5 人材確保のためのテレワークの導入



# 中小企業競争力強化促進事業

「新分野・新市場への進出等」とは次の①～③の何れかに該当する取組みです。

- ① 中小企業者等の事業が属する日本標準産業分類における小分類項目以外の小分類項目に属する事業に進出するもの。
- ② 中小企業者等が保有する製品等を新しい市場(新しい顧客)に売ることなど、道外及び海外市場の開拓やシェア拡大などを行うもの。
- ③ 新事業展開(新商品の開発・生産、サービスの開発・提供など新たな事業活動)を行うもの。

## 製品開発

### 市場対応型製品開発支援事業(一般・特定産業分野・共同研究開発)

対象者	補助内容	補助対象の取組
道内の中小企業者等	上限 <b>300万円</b> 補助率 <b>1/2</b> 以内	新分野・新市場への進出等のために行う製品・サービスの開発及びこれに伴う市場調査や道外展示会等への出展
「加工組立工業」「基盤技術産業」等の道内の中小企業者等	上限 <b>500万円</b> 補助率 <b>1/2</b> 以内	自動車・電子部品製造業等加工組立型工業の事業者との取引拡大のために行う製品・サービスの開発及びこれに伴う市場調査や道外展示会等への出展
「食関連産業」「環境・エネルギー産業」「IT産業」の道内の中小企業者等	上限 <b>500万円</b> 補助率 <b>1/2</b> 以内	新分野・新市場への進出等のために行う製品・サービスの開発及びこれに伴う市場調査や道外展示会等への出展
「加工組立工業」「基盤技術産業」「食関連産業」「環境・エネルギー産業」「IT産業」の道内の中小企業者等	上限 <b>500万円</b> 補助率 <b>1/2</b> 以内	大学等と連携して行う、加工組立型工業、基盤技術産業、食関連産業等、環境・エネルギー産業、IT産業に関する共同研究開発及びこれに伴う市場調査や道外展示会等への出展

【対象経費】原材料費、外注加工費、技術導入費、プログラム開発費(IT企業の場合、開発に従事した人件費を含む)、デザイン開発費、出展料 等  
※道外展示会出展や市場調査に要する経費への補助は、200万円が上限となります。

## 市場開拓

### マーケティング支援事業

対象者	補助内容	補助対象の取組
道内の中小企業者等	<b>道外実施</b> 上限 <b>100万円</b> <b>海外実施</b> 上限 <b>200万円</b> 補助率 <b>1/2</b> 以内	新分野・新市場進出等のために行う、製品・サービスの市場調査や道外・海外・オンラインの展示会等への出展

【対象経費】市場調査委託費、出展料、展示工事費、滞在費、往復の交通費、パンフレット印刷費、PR動画作成費 等  
※オンライン展示会の場合は、道外実施(上限100万円)扱いとします。

は、「北海道経済構造の転換を図るための企業立地の促進及び中小企業の競争力の強化に関する条例」に基づく、道内中小企業の新分野・新市場への進出を支援する補助金です。

# 中小企業競争力強化促進事業 事例紹介

## 活用事例

市場対応型製品開発支援事業(一般)

「お客様への解決策、創意工夫で導き出しました。」

エノ産業株式会社  
[東川町]

### ～原木外観選別装置の開発～

「板材生産では“節”が生産性や歩留りに影響する。何とかできないか。」という相談を受け、原木外観選別装置を開発しました。

補助事業では、原木をカメラで撮影し、画像解析・AIを用いて選別する装置を試作、解析方法は旭川工業高等専門学校と共同開発を行い、節の有無について90%以上の検出精度を実現し、製品化に成功しました。

#### 【補助金を利用した感想】

当社にとって製品開発や改良は、多様化する顧客ニーズに応えるために必要不可欠です。補助事業の利用により、資金負担を軽減することができ、経営面でとても有用でした。



## 活用事例

市場対応型製品開発支援事業(特定産業分野)

「新しい顧客層への訴求力・新しいモノへの挑戦で掴みました。」

株式会社中井英策商店  
[伊達市]

### ～飯寿司製造方法を応用した牛肉発酵食品の開発～

伝統的な発酵食品「飯寿司」を主力商品とする当社は、漬物需要低迷といった消費者志向の変化に対応するため、牛肉を使った新しい発酵食品を着想しました。

補助事業では、畜産農家の(有)長沼ファームに協力を頂き試作を重ね、製品化の目途をつけました。その後も改良を続け商品化に成功し、新商品がメディアに取り上げられたことなどで若者世代へ購買層が広がりました。

(令和2年度「北海道新技術・新商品開発賞」食品部門優秀賞受賞)

#### 【補助金を利用した感想】

新製品開発の課題の一つに資金確保があります。補助金の活用により思い切ったチャレンジができました。また「補助事業期間中に形にしなれば…」という良い意味でのプレッシャーが、商品化への後押しとなると改めて実感しました。



## 活用事例

マーケティング支援事業

「業界関係者の集まる展示会、知名度向上に最適です。」

サンエイ工業株式会社  
[斜里町]

### ～知床発!!小型ポテトハーベスターの海外展開～

本事業を活用して、新製品の小型ポテトハーベスター「SS-1N」を令和元年11月にドイツで開催された世界最大の農業機械展「アグリテクニカ」に出展しました。本製品は小規模ジャガイモ農家向けに作業性や安全性を向上させ、他社と大きく差別化した製品です。小型ポテトハーベスターを開発している国内外メーカーはほとんどないことから、複数の企業から問い合わせを受けました。

#### 【補助金を利用した感想】

当社製品を海外市場でアピールできたほか、ヨーロッパ市場の製品ニーズや世界の農業機械のトレンドを把握することができ、貴重な機会となりました。得られた情報をもとに今後の製品開発や改良に活かしていきたいと考えています。



**注目情報**

DXの推進、ゼロカーボンへの対応、パートナーシップ構築宣言※への参加、コロナ対策など社会経済情勢の変化に対応する重要な課題への取組について応援します。

※「パートナーシップ構築宣言」とは、企業規模の大小に関わらず、企業が「発注者」の立場で自社の取引方針を宣言する取組です。

**1 市場対応型製品開発支援事業**

「IT産業」の補助事業者は、ソフトウェア開発に要した人件費を「プログラム開発費」に算入できます。

**2 コンサルタント等招へい事業**

DX、ゼロカーボン等に精通したコンサルタント等の招へいができるようになりました。

**3 産業人材育成支援事業(招へい)**

競争力の強化に向けた重要な課題に取り組むため講師を招へいして行う研修会等への補助が可能です。

**現場改善** **コンサルタント等招へい支援事業**

対象者	補助内容	補助対象の取組
道内の 中小企業者等	上限 <b>100万円</b> 補助率 <b>1/2</b> 以内	新分野・新市場への進出等のために行う、技術開発、生産管理、マーケティング又は脱炭素・社会の実現、デジタル社会形成等に向けた取組等の専門コンサルタント等の招へい

【対象経費】コンサルタント料(オンラインによるコンサルティングも可)、滞在費、往復の交通費

**活用事例**

コンサルタント等招へい支援事業

「専門家の継続的なアドバイスを受けて、従業員が輝きました。」

有限会社ルモンド  
[留萌市]

～増毛産はちみつを使用した商品でギフト事業へ新規参入し、新たな地盤を作る～

近隣増毛町産のアカシア100%のはちみつを使って開発した新商品「みつばちラスク」「みつばちリング(ドーナツ)」でギフト市場へ参入する新規事業計画を策定しました。補助事業では、販売面・生産面の課題を解決するため専門コンサルタントを招へいし、売り方・作り方の指導を受けました。この結果、これまで以上に従業員に積極性が生まれ、様々なアイデアで、新規事業が順調に伸びています。

**【補助金を利用した感想】**

外部専門家から継続して指導を受けることは費用面で難しいと考えていたところ、当制度の利用によって、ギフト市場参入のために有益なアドバイスを受けることができました。



**人材育成** **産業人材育成支援事業(派遣・招へい)**

対象者	補助内容	補助対象の取組
派遣 道内の 中小企業者等	上限 <b>50万円</b> 補助率 <b>1/2</b> 以内	新分野・新市場への進出等に資する人材養成を図るために行う、先進企業、研修機関、専門職大学院等への従業員等の派遣
招へい 道内の 中小企業者等	上限 <b>50万円</b> 補助率 <b>1/2</b> 以内	脱炭素社会の実現、デジタル社会の形成等の社会経済情勢の変化に対応するなど、競争力の強化に向けた重要な課題に取り組むに行う講師を招いて実施する研修会等

【対象経費】(派遣)入学科、授業料、滞在費、往復の交通費 【対象経費】(招へい)授業料(講師に支払う経費)、会場借上費、滞在費、往復の交通費 等  
※重要な課題:「脱炭素社会の実現」「デジタル社会の形成」等の社会経済情勢の変化に対応するなど、自社の競争力強化に向けた課題。

**活用事例**

産業人材育成支援事業(派遣)

「次世代後継者のために、アントレプレナーシップ教育。」

三洋興熱株式会社  
[帯広市]

～新規事業を創出・推進するリーダーの養成～

経営人材及び新規事業開発のリーダーとして養成することを目的に、本事業を活用して当社役員を小樽商科大学大学院アントレプレナーシップ専攻課程に派遣しました。経営戦略・経営組織論・マーケティングなどの経営管理に関する知識を学んだほか、新分野へ進出する際の市場分析、事業計画の作成、新規事業の運営についても学び、これらの知識を実際の業務に実践しました。

**【補助金を利用した感想】**

ここ数年当社では事業の幅を広げるため業務提携を行っており、また、環境変化に対応する新規事業の創出も検討しています。アントレプレナーシップ専攻課程での学びが今後の成果に繋がることを期待しています。



**人材確保** **テレワーク導入支援事業**

対象者	補助内容	補助対象の取組
道内の 中小企業者等	上限 <b>60万円</b> 補助率 <b>1/2</b> 以内	新分野・新市場への進出等に資する人材確保のために行う、情報通信技術を活用した就業場所や時間にとらわれない働き方の導入

【対象経費】機器購入費、システム構築費、コンサルタント料

**活用事例**

テレワーク導入支援事業

「新しい働き方、テレワーク、新規採用や離職防止に効果的です。」

アイ・ティ・エス株式会社  
[札幌市]

～テレワークの導入による人材の有効活用及びシェア拡大～

育児や介護などを抱える従業員でも働きやすい職場となるように、本事業を活用して在宅勤務用のパソコンやルーターを導入し、従業員のテレワーク環境を整備しました。これをきっかけに社内でテレワークの活用が一気に広がり、現在では全労働時間の約3割がテレワークによる就業になっています。今後も積極的に利用拡大を図る方針です。

**【補助金を利用した感想】**

テレワークの導入は、従業員の新規採用・離職防止の面で好影響を及ぼしています。また、通勤ストレスがなくなり、より集中して自分の仕事に取り組むやすくなったことで、SEやプログラマーの生産性向上にもつながっています。



# 応募方法・留意事項

- 募集期間、対象経費の詳細などに関しましては、当センターのホームページでご確認または下記「問い合わせ先」にご連絡ください。
- 募集要項・申請様式は、当センターのホームページにて公開しますので、よくお読みの上、応募してください。
- 同一年度において、補助事業の内容の全部または一部を対象として、国(独立行政法人を含む。)または道の補助金が交付される場合、補助の対象とすることはできません。

## 補助金交付までの流れ



補助対象経費は、当該年度の4月1日から翌年3月15日までに発生し、支払いを終えた経費に限ります。  
(4月1日が土曜日または日曜日である場合は、4月の第1月曜日からとなります。)

(公財)北海道中小企業総合支援センター ホームページ

URL <https://www.hsc.or.jp/>



公益財団法人

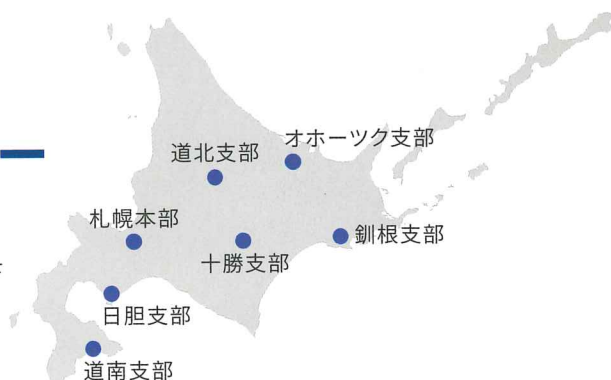
## 北海道中小企業総合支援センター

企業振興部(札幌本部)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目経済センタービル9F

TEL 011-232-2403

E-mail : [jyoseishien@hsc.or.jp](mailto:jyoseishien@hsc.or.jp)



### 道南支部

〒040-0015 函館市梁川町5番10号 プライム函館EAST 8階  
TEL 0138-86-6695

### 十勝支部

〒080-0013 帯広市西3条南9丁目23番地 帯広商工会議所内  
TEL 0155-67-4515

### 釧根支部

〒085-0847 釧路市大町1丁目1番1号 釧路商工会議所内  
TEL 0154-64-5563

### 道北支部

〒078-8801 旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内  
TEL 0166-68-2750

### 日胆支部

〒050-0083 室蘭市東町4丁目28番1号 室蘭テクノセンター内  
TEL 0143-47-6410

### オホーツク支部

〒090-0023 北見市北3条東1丁目2番地 北見商工会議所内  
TEL 0157-31-1123